

〔報告 2〕

お野立所デザインについて

(1) お野立所デザイン

2021年（令和3年）春季に滋賀県で開催する第72回全国植樹祭のお野立所のデザインについて、第72回全国植樹祭基本計画等策定業務を受託している企業共同体（JV）を通じて、公益社団法人滋賀県建築士会でデザイン提案コンペを実施していただき、実行委員会事務局に提出いただいた4案のうちから、同会のコンペで最も評価の高かった1案をお野立所のデザインとして選定しました。

デザインの概要は別紙のとおりです。

(2) 選定理由

円形の床は琵琶湖をイメージし、柱部分は樹木を、屋根は樹冠の広がり表現することにより、森と湖のつながりや、「滋賀らしさ」を感じさせるデザインとなっており、大会テーマである「木を植えよう びわ湖も緑のしずくから」の趣旨に合致しています。

また、北東向きの設置となることから、採光を確保するため屋根部分はテント幕を採用し、柱や梁、床に県産木材を積極的に使うことで、持続可能な滋賀の森林づくりを推進していくという大会の開催理念に合っていることからデザインとして選定しました。

(3) 県産木材の活用

建築にあたっては、経費の削減に努めるとともに、使用部材については、びわ湖材産地証明制度に基づく県産木材を使用することで、びわ湖材の利用拡大を推進します。

また、お野立所の背面および床面、天皇皇后両陛下の御机にびわ湖材のCLT（直交集成板）を使用するとともに、お野立所の横に式典エリアと本部エリアを仕切るためCLTを用いた目隠し壁を設け、お野立所と併せて多くの方に見てもらえるよう工夫することで、CLTの普及啓発を図ります。

大会終了後は、CLTの部材を2024年に滋賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の陸上競技場で再利用し、そこでも様々な方にCLTをPRできるよう有効活用を図っていきます。

(別紙)

お野立所イメージ図



正面図



ななめ図